

令和 7 年度第 3 回大分支部評議会議事録

開 催 日	令和 8 年 1 月 16 日 (金) 10:00~12:00
開 催 場 所	コンパルホール大分 「300 会議室」
出 席 議 員	石井評議員、金崎評議員、亀井評議員、河野評議員、原評議員、藤嶋評議員、 渡辺評議員 (五十音順)
議 題	<p>(1) インセンティブ制度に係る令和 6 年度実績 (確定値) について</p> <p>(2) 令和 8 年度大分支部保険料率について</p> <p>(3) 令和 8 年度 大分支部事業計画 (案) 及び支部保険者機能強化予算 (案) について【第 2 回】</p>
議 事 概 要 (主な意見等)	
<p>議題 1. インセンティブ制度に係る令和 6 年度実績 (確定値) について</p> <p>議題 2. 令和 8 年度大分支部保険料率について</p> <p><事務局></p> <p>資料に基づき説明を行った。</p> <p>(被保険者代表)</p> <p>大分支部保険料率が前年度から 0.17%引き下がることは評価したい。だが、賃金が上がっても可処分所得が増えている実感がない状況であるため、加入者・事業主の負担軽減を図る観点から保険料率をさらに下げるべきである。また、準備金残高からみても、さらなる保険料率の引下げを希望する。</p> <p>(被保険者代表)</p> <p>保険料率をさらに下げるためには、インセンティブの順位を上げる必要があり、途中経過を示すことができれば対策をとれやすいかと考える。また、インセンティブ制度を加入者に広く周知することも重要である。</p> <p>(事務局)</p> <p>インセンティブ制度は全支部の年度単位での相対評価を基に数値を示しているものなので難しい面があるが、見せ方を工夫し途中経過を提示できるよう検討したい。</p> <p>(事業主代表)</p> <p>令和 7 年度決算見込において、準備金が 7 兆円に達するが、特例減額は結局、他保険者への支援に充てられており、介護保険料率等を含めたトータルの保険料率は 10%を超えているため、積立てられた準備金を協会けんぽ加入者へ還元する形で保険料率を下げるために努力をしてほしい。</p>	

(事務局)

準備金の在り方については、協会本部へ意見を発信していく。

(学識経験者)

支出については、診療報酬改定で協会の負担が 880 億円増えるため、国庫補助率を 20%に上げるよう強く要望する。

(事務局)

国庫補助率については、協会けんぽ本部が毎年、厚生労働省に要請を続けており、今後も引き続き実施していくよう協会本部へ意見を発信していく。

(学識経験者)

ユニバーサルサービスの観点から保険料率の支部間較差が是正されるようなインセンティブ制度の在り方を検討するべきである。また、準備金の活用等によるインセンティブ付与を検討いただきたい。

(事務局)

いただいたご意見については、協会本部や運営委員会に発信していく。

議題 3. 令和 8 年度 大分支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について【第 2 回】

<事務局>

資料に基づき説明を行った。

(被保険者代表)

特定保健指導の実施率について、人間ドック健診の当日の指導は健診機関にとっても負担となるため現実的に実施できそうか。

(事務局)

人間ドック健診を実施できる健診機関については、実施計画書等を確認した上で契約しているので問題ないと思われる。なお、特定保健指導については、当日面談を分割実施している健診機関もあるため、負担軽減になると思われる。

(被保険者代表)

令和 8 年 1 月からスタートするけんぽアプリや電子申請について、加入者や事業主へ使い方などを周知した方がよい。

(事業主代表)

人間ドック健診を受診する場合の費用はいくらか。

(事務局)

協会けんぽから一律で 25,000 円の補助が出されるが、人間ドック自体の総費用は健診機関が設定するので、自己負担にばらつきが出てしまう。

(事業主代表)

今回、新たにできた子ども・子育て支援金制度においては事業主及び加入者の負担が増加したので、その財源を基に学齢期における健康教育の推進を実施するべきであると考えている。

(学識経験者)

マイナ保険証の普及に向けた具体的な取り組みは何かあるのか。医療費適正化において、大分県はバイオシミラーの使用割合が全国的に高いが、どのように取組みが進んでいるのか。

(事務局)

マイナ保険証については、若年層の普及率が低い傾向にあるので、そのあたりを検討の材料に効果的な広報を実施したいと考えている。バイオシミラーについては、地域別にみると使用割合にばらつきがあるため、例えば、使用割合の低い病院に対して使用割合の高い病院から収集した好事例を普及に向けて横展開していきたい。

(学識経験者)

支部保険者機能強化予算が前年度より減額されているが、インセンティブの順位を上げるには大分支部で行っている取組みに対して予算を厚く充てる必要があるのではないのか。また、外部有識者を活用した調査研究成果の活用とあるが、この取組みは支部保険者機能強化予算のどの枠組みに入るのか。

(事務局)

支部保険者機能強化予算については、事業を縮小するのではなく、今後、電子化及び DX 化を推進する中で、省略できる事業を削減する観点で整理した結果予算が減額となった。また、外部有識者との調査研究においては、今回の支部保険者機能強化予算には計上せず、外部有識者との連携が取れるようであれば別途本部へ予算要求する形となる。

以 上

特 記 事 項

・傍聴者なし